

平和祈念展

語り継ごう! 戦争体験の記憶



引揚船は大きくてたくましく見えた ちばてつや氏画



見に来てくださいな!

©水木プロ



シベリア第2鉄道 冬
(鉄道の敷設作業に従事した) 佐藤清氏画



ラバウルから最前線への道で 水木しげる氏画



でっかいリュックを背負って
かあちゃんにしっかりとつかまって
赤塚不二夫氏画

平成21年
11月18日水~23日月祝

開催時間/9:00~18:00(最終日17:00)

**呉市海事歴史科学館
(大和ミュージアム)**

1階「大和ホール」(入場は無料です)

〒737-0029 広島県呉市宝町5-20

●お問い合わせ先 独立行政法人 平和祈念事業特別基金
〒162-8672 東京都新宿区若松町19-1
TEL:03-5860-2749 FAX:03-5285-5472 HP <http://www.heiwa.go.jp>

●主催 独立行政法人 平和祈念事業特別基金

後援/総務省、広島県、広島県教育委員会、呉市、呉市教育委員会、朝日新聞広島総局、中国新聞社、中国放送、テレビ新広島、NHK広島放送局、
広島テレビ、広島ホームテレビ、毎日新聞呉支局、読売新聞大阪本社

協力/呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)、(社)元軍人軍属短期在職者協力協会、財全国強制抑留者協会、(社)引揚者団体全国連合会



©水木プロ

独立行政法人 平和祈念事業特別基金は、昭和63年7月に設立され、これまで多くの方々に戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えるため、全国において展示会や講演会等さまざまな事業を行っております。

今回の平和祈念展では、「語り継ごう! 戦争体験の記憶」をテーマに、いわゆる恩給欠格者、戦後強制抑留者、海外からの引揚者等の労苦を物語る資料として、写真、体験者が自らの体験を描いた絵画のほか、当時の日記、手帳、手紙、各種証明写真から身の回りの品々までを①兵士の労苦、②戦後強制抑留、③海外からの引揚げ等のコーナーに分けて展示するとともに、その労苦の実態を伝えるビデオを上映します。

特に、各コーナーにおいては、地元広島出身者の資料を紹介することとし、また、引揚船(模型)を展示するなど、見所を満載にして皆様をお待ちしております。

終戦後64年が経過し、戦後生まれの世代が人口の7割を超えている今日、戦争体験者のご労苦は、ともすれば忘れ去られようとしています。この祈念展が戦争犠牲による関係者のご労苦を広くご理解いただく機会となるとともに、改めて戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぐ場となれば幸いです。

兵士の労苦



臨時召集令状(通称、赤紙)
石橋武三氏(佐賀県)



弾除け祈願のチョッキ
田邊恵子氏(広島県)



敵前上陸に備え、観測と警戒にあたる
船舶工兵
小柳次一氏撮影



白菊特攻隊時代の西村晃氏
山崎七甫氏提供

戦後強制抑留者の 労苦



厳寒の伐採作業と木材運搬
吉田勇氏画

国境を越えシベリアへ
早田貴一氏画



手製のスプーン・
フォーク・ナイフ
海江田英次氏
(鹿児島県)



袖なしの外套
村田金悦氏(高知県)

海外からの引揚者の 労苦

オムツで作ったワンピース
広田きみ氏(滋賀県)



宇品港で支給された
紙製のチョッキ
赤尾喜奴男氏
(神奈川県)

帰れ!
ちばてつや氏画

引揚証明書
三鼓安治氏
(兵庫県)



呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)
〒737-0029 広島県呉市宝町5-20

- 電車でお越しのお客様
JR呉駅の改札口を出て右側の連絡通路を徒歩約5分
- フェリー等でお越しのお客様
呉中央棧橋から徒歩約1分
- タクシーでお越しのお客様
JR呉駅から約5分